

## 1. 調査目的等

小・義務教育学校1年生から6年生の児童の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善に役立てる。

## 2. 学校ごとの指標

【短期目標】令和5年度の標準学力調査で、学校全体の標準スコア48を目指す。

【中期目標】令和7年度までに、標準学力調査で、学校全体の標準スコア50を目指す。

## 3. 指標にむけての取組

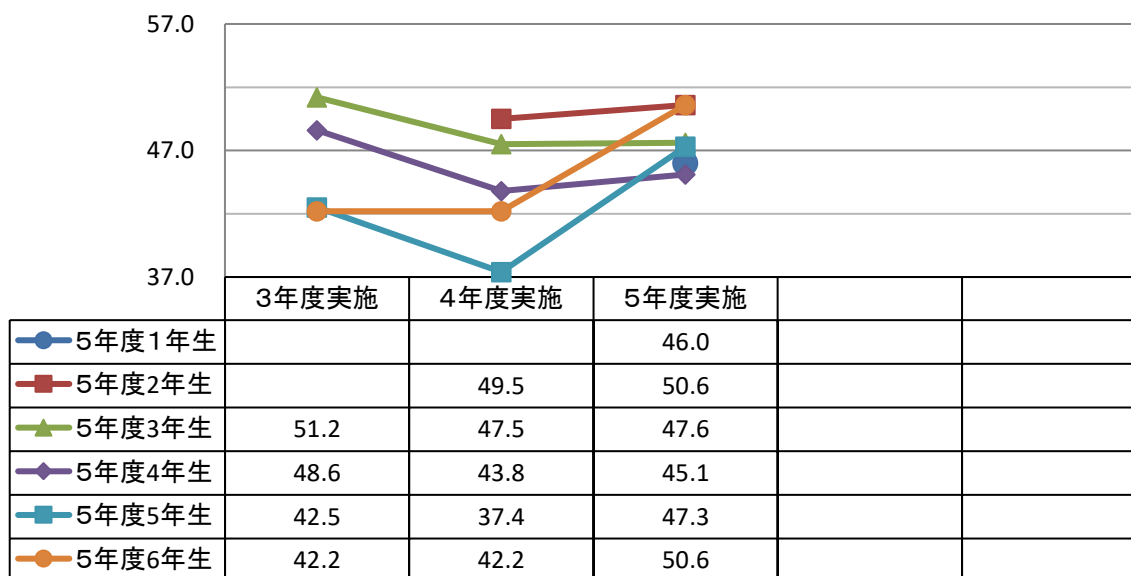
- ・主体的な学習を目指す授業改善(自分の考えを書く、伝える活動・学びの振り返り)
- ・算数科における、複数体制での指導
- ・授業の中での思考を伴う書く活動の位置付け
- ・児童が落ち着いて学習に取り組むことのできるための環境整備

## 4. 調査結果

※学校平均(国語・算数)2年間の推移 (標準スコア:全国値の正答率を50とした時の換算値)

年度	3年度	4年度	5年度		
本校(A)	45.8	43.9	47.8		
嘉麻市(B)	47.0	47.2	48.5		
(A) - (B)	-1.2	-3.3	-0.7	0.0	0.0
全国値との差 (A) - (50)	-4.2	-6.1	-2.2	-50.0	-50.0

## 各学年の標準スコアの推移



## 5. 各学校における分析

- 標準スコアの学校平均は、国語科47(昨年度比+3.5)、算数科48.7(昨年度比+4.5)と、全国正答値50を下回っているものの、どちらも上昇している。また、学校平均だけでなく、すべての学年の標準スコアも昨年度を上回っている。
- 国語科においては、特に基礎に課題があり、「話すこと・聞くこと」「読むこと」領域の課題が大きい。記述式の解答率は全国に比べて高い学年が多く、反対に選択式での誤答が多い。
- 算数科においては、どの学年においても、基礎は昨年度より伸びが見られ、記述式の解答率が上がった学年が増えた。特に、「数と計算」領域において、学習の成果が出ている。しかし、「図形」「変化と関係」「データの活用」に課題がある。
- 本校の主題研究「主体的に学び、自分の考えを表現する児童」の育成を目指して、3つの手立て(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供)を行った。少しずつではあるが、自分の考えを表現しようとする児童が増えていったことで、記述式の解答に自分の考えを書こうとする姿につながったと考える。
- 算数科単元末評価テストの通過率を把握し、未通過児童数を減らすために、習熟の時間の実施方法を全校で共有し、複数体制で習熟を実施した。それにより、児童は自分の苦手を克服することを意識して習熟に取り組むことができた。また、教師はそれぞれの児童に合わせた支援を行うことができた。このことが学習内容の定着につながったと考える。

## 6. 各学校における今後の取組

- 全職員で、本校の学力の推移や課題について共通理解を図り、全学年での学力を支える取組の徹底を図る。
- 朝の活動(読書タイム、学びタイム)の実施を行う。学びタイムでは、専科教員が中心に関わり、テンミニ+αの活用を図る。
- 月一回のチャレンジタイムを設定し、国語・算数の補充・発展問題に取り組むことができるようにし、複数体制での指導を行う。
- 算数科を中心に、各学年の重要単元を洗い出し、学力低位層の児童を考慮した効果的な指導形態(TT指導・分割授業等)を踏まえて、年間を見通した指導計画を作成し、実践する。
- 算数科において、単元テスト実施前に形成的評価を行い、通過率を把握し、複数体制による習熟の時間の設定を行う。また、未通過だった児童への個別の支援を行う。
- 家庭学習強化週間を設定し、児童への個別支援を行う。

## 7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◎今後の取組を具体化し推進できるように、特に次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。
  - ◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した学習評価からの授業づくり(指導と評価の一体化)や思考を伴う「書く活動」を核とした授業づくりの推進する。そのために、指導主事を派遣して校内研修で授業観察指導を実施したり、「書く活動ポイント9」や「授業チェックリスト」を活用できるように指導助言や支援を行ったりする。
  - ◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した「家庭学習の取組」を推進する。そのために、A1ドリルを活用した個に応じた家庭学習課題の推進を図る。  
また、個に応じた学習課題の提示を進める各学校の取組を交流する場を設定する。
  - ◆学力向上検証委員会を開催し、単元テスト評価後の個に応じた習熟度別指導を取り入れた指導方法の工夫を推進する。そのために、習熟度別指導の単元づくりや個に応じた補充プリントの活用の仕方、ICTの利活用について指導する。